

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年2月12日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令で定められた基準以上の広さもあり、療育と余暇の部屋を分けています。	今後も利用定員とスペースの関係が適切になるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基準を上回る配置で対応しており、職員全員有資格者となっております。	今後も継続して、適切な配置に努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		バリアフリー化は今後の検討課題ですが、学習と活動の部屋を分けることで、過ごしやすい環境設定ができます。	今後も必要に応じてバリアフリー化の検討を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日事業所内の清掃を丁寧に行い、机・いす・玩具・ドアノブ等も除菌、消毒を徹底しています。	コロナ禍の対応としてマスクの着用・手洗い・三密を避けるなど感染症予防対策を行っています。 今後も児童が活動しやすく、清潔で衛生管理を徹底し、心地よく過ごせる空間作りを継続してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		定期的に職員全員でミーティングやリフレクション会議を行い、職員間で業務改善に対して情報交換・共有・振り返りを行っています。	今後も会議で情報交換・共有・振り返りを徹底し、より良いサービス、より良い支援、業務の改善に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		年一回保護者様へアンケートを配布し、ご意見は全職員で共有して検討を行い、業務改善に努めています。	頂いたアンケートの結果を踏まえて、職員全員で話し合い、できることから業務改善に取り組んでまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		自己評価の結果は公式Webサイトで公開しています。	今後も継続して、公式Webサイトで公開してまいります。
	8 第第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後課題として検討してまいります。
	9 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		年間計画を年度初めに計画し、毎月研修を行い、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も研修を行い、職員の資質の向上を図ってまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントを適切に実施し、定期的に児童の状態や、保護者様のご意向を踏まえ、計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた支援計画を作成し、児童や保護者様との日々の関わりの中で、ニーズや課題を検討してまいります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントシートを用い、個人ファイルに保管し、活用しています。	今後も継続して適切にアセスメントツールを活用してまいります。
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、児童の状況やモニタリング、送迎時の面談で得たニーズを職員間で話し合った上で、児童に適した具体的な支援計画を作成しています。	今後もガイドラインに沿って、適宜モニタリング、担当者会議で見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、具体的な支援内容を勘案し個別支援計画を作成してまいります。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		支援計画を踏まえて職員が共通認識を持って支援に取り組んでいます。	今後も具体的な支援内容や個別支援計画を作成してまいります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		全職員で意見を出し合い、チームで児童の状態に合わせたプログラムを立案しています。	今後も活動プログラムは随時チームで立案・計画してまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		職員間でそれぞれ意見を出し、話し合い、プログラムが固定化されないよう工夫しています。	今後も、職員間で話し合い、児童が意欲的に活動できる内容になるよう努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	今後も適切に個別活動と集団活動を組み合わせて、支援計画を立案して参ります。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		ミーティングで前日の様子や当日の支援内容を職員間で話し合い、情報交換を行っています。	今後も当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有の上、支援に取り組んでまいります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		支援終了後は送迎もあり、全職員が集まることが難しく、当日の支援の振り返りは、翌日のミーティングで全職員で共有しています。	今後も共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底してまいります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		毎日記録に残し、すぐに検証と改善ができるように心がけています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋げてまいります。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年以内に必ずモニタリングを行い、保護者様のニーズと児童の現状を把握した上で計画の見直しをしています。	今後も必要に応じ、期間を問わずモニタリングを行い、計画の見直しを行って参ります。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児発管と、支援担当者が参画しています。	今後も児発管が参加し支援に活かしてまいります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>		ケースに応じて各関係機関と連携を取り、統一した支援が行われるようにしています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるように努めています。
	23 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について摸索してまいります。
	24 （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について摸索してまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		関係機関とは担当者会議等を通して、情報提供や共有を行い、支援の方針が統一されるように努めています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		必要に応じて就学の際には移動先を交えて担当者会議を行い、事業所内の様子をお伝えし支援の方針が統一されるよう、情報共有と相互理解に努めています。	今後も保護者様の同意を得て、支援の見学を受け入れ、電話連絡を行い、相互理解を図り、児童の課題に向き合い、連携を深めてまいります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		センターなどとは、情報交換を行い助言を受けており、児童が併用している他事業所とも意見交換ができる連携を図っています。	今後も積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やす努力でまいります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	現時点では、事業所主催の交流の機会は、企画できていません。	コロナ収束後に、保護者様のご意向をうかがいながら、交流機会を検討してまいります。
	29 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	コロナ禍でもあり、参加機会はありませんでした。	コロナ収束後、研修が行われる際は、積極的に参加し研鑽に努めて行きたいと思っています。
保護者への説明責任等	30 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		曰頃より送迎時や家庭連携で児童の様子や状況を保護者様に伝え、発達の課題について共通理解を持つようにしています。	今後も引き続き、保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレンントレーニング等）の支援を行っている	<input type="radio"/>		保護者様のお悩みやご相談を一緒に考え、助言し、保護者様に寄り添う支援を心がけております。	今後も継続して、保護者様のお悩みに寄り添う支援を行ってまいります。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時は、保護者様が分かりやすいように配慮しながら説明を行っています。説明時には、質問や不明点がないか確認しながら進めています。	今後も引き続き、分かりやすく丁寧な説明を心掛けてまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容等の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		ガイドラインに基づいた支援計画を作成しています。保護者様への支援計画の説明には、分かりやすい言葉での説明を心掛け、保護者様の同意を得ています。	今後も保護者様のご意向や、児童の状況に応じた支援計画の作成に努め、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		家庭連携や日々の送迎時等でご相談を受けた際は、保護者様のお気持ちに寄り添いながら助言を行い、支援に繋げています。	今後も家庭連携や送迎のみならず、いつでも子育てのお悩みについての助言を統一し、保護者様から話しかけやすい環境を心掛けて、寄り添えるように努めています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	今年度はコロナ禍の影響で父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ収束後、ご意見を伺いながら、保護者様参加型の行事等の機会を検討してまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情があった場合は、すぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。また、苦情窓口と責任者を配置し、ご意見箱の設置も行っています。	今後もご意見には、できるだけ迅速な対応を行い、必要に応じて、家庭訪問等で早期解決に努めています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		公式Webサイトのブログは、月一回事業所の様子をお伝えし、その更新はLINE公式アカウントで毎朝お知らせしています。また年4回季刊誌を発行しています。	今後も情報を発信する度に保護者様にご案内し、より多くの方に活動内容を知って頂けるよう努めています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報が記載された書類の破棄は、シュレッダーを利用し個人ファイルについては、鍵付の書庫にて保管・管理しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行ってまいります。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		児童や保護者様の状況に合わせ十分に配慮した情報伝達手段で意思疎通を行っています。	今後も児童や保護者様の状況を考えながら、情報伝達や、意思疎通に配慮してまいります。
非常時等の対応	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	今年度は、コロナ感染症予防の観点から、行事に地域住民をご招待する企画を行なうには至りませんでした。	今後コロナの事態が収束した際には、地域のイベントに児童と参加したり、事業所にお招きするなど、近隣の方々との交流の機会を設けてまいります。
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		事業所内にマニュアルや対策を掲示し保護者様にもお伝えしています。また年間計画を立て、訓練を行っています。	掲示場所を再度ご案内し、訓練実施の際には、連絡帳等で保護者様への事前連絡を行ってまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		年度初めに年間計画を立て、地震・火事・不審者などの避難訓練を定期的に行っています。	今後も定期的に訓練を行い、訓練後に改善点を話し合い、次の訓練に繋げてまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことの状況を確認している	<input type="radio"/>		アセスメント実施の際、聞き取りをしています。発作時の対応法を保護者様より詳しくお聞きし、全職員に周知徹底しています。	事前の情報収集と職員への周知、かつ定期的な振り返りを今後も行ってまいります。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		アレルギーは契約時に保護者様から聞き取りを行い、全職員で情報共有を徹底しています。	今後も職員の周知を徹底し、食物の提供を行う場合は、細心の注意を行ってまいります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハット報告書を作成し、職員全体で情報共有して、再発防止に努めています。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、職員間で情報共有と認識一致に努め再発防止に繋げてまいります。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		虐待防止研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に、虐待防止に関する勉強会を行っています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、職員の資質の向上に努めています。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		<input type="radio"/>		利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されています。現時点では拘束の該当者はいませんが、生命または身体を保護する為、やむを得ず身体拘束を行う場合は、書面にて保護者様の同意を得ることにしています。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行うときは、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。